

## 「(仮称) 2050 まちづくりビジョン (素案)」に対する 市民意見の概要及び本市の考え方

令和3年12月24日から令和4年1月24日まで実施いたしました「(仮称) 2050 まちづくりビジョン (素案)」に対する市民意見募集に貴重なご意見を頂きまして、ありがとうございました。皆さまからお寄せいただいたご意見の概要及び本市の考え方を次のとおり公表いたします。なお、ご意見は一部要約又は分割して掲載しましたのでご了承ください。

<p><b>【意見の内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見</li> <li>2 内容や表現に対して追加や修正を求める意見</li> <li>3 今後の進め方等に対する考え方を述べた意見</li> <li>4 その他の意見</li> </ol>	<p><b>【意見の反映結果】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 掲載済み (一部掲載を含む)</li> <li>② 追加・修正あり</li> <li>③ 追加・修正なし(今後の参考等とする)</li> <li>④ その他</li> </ol>
---	--

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
<b>「まちづくりビジョン【全般】」に関するもの</b>				
1	2050年代には北九州市の人口は70万人台と予測されるが、人口減少社会に対する北九州市政のあり方(広域行政、職員数、公共施設など)について言及がない。	<p>本ビジョンは、小倉、黒崎、東田地区の概ね30年先の2050年に本市が目指すまちづくりの方向性をとりまとめたものです。</p> <p>ご指摘の北九州市政にあり方につきましては、北九州都市圏域連携中枢都市圏ビジョンや北九州市行財政改革大綱等に基づき、活力ある社会経済の維持や簡素で効率的かつ効果的な行財政運営等に取り組んでいます。今後も、引き続きこの取組を推進していきます。</p>	2	③
2	100万人台の人口があったときに都心副都心構想であったものが、70万人台になったときに東田に新都心を持つてくることはコンパクトシティ構想に反する。	<p>本市では、北九州市都市計画マスタープランに基づき、「街なか居住」などコンパクトなまちづくりを推進しています。</p> <p>この都市計画マスタープランにおいて東田地区は、地域拠点として位置付けられ、本市の中核として高次の都市機能の集積・維持・向上を図る地域としています。</p>	2	③

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
3	<p>人口減少にともなう税収の減少による公共施設の集約化、改廃、維持管理についてどのように民間力を活用するかについての言及がない。</p>	<p>公共施設の集約化、改廃、維持管理に係る民間活力の活用につきましては、北九州市公共施設マネジメント実行計画に基づき、民間活力の導入等により維持管理・運営方法について一層の効率化に取り組んでいます。</p>	2	③
4	<p>2050年のまちづくりビジョンとなっているが、10年後には完了しそうなことばかりで、2050年を見据えたものではない。</p>	<p>まちづくりビジョンを実現するためには、行政だけではなく、地元関係者や民間事業者等、多くの方々との連携が必要となります。</p> <p>まちづくりには、多くの方々がかかわることから、利害関係の調整等を含め、多くの時間を要するため、30年という長期スパンで取り組みを推進していきます。</p>	2	③
5	<p>ビジョンには、そこへ至るまでの工程表がなく、どのようにして実行へ至るかの言及がない。</p>	<p>今後、まちづくりビジョンを実現するため、地元関係者や民間事業者などまちづくりに関わる様々な方々とまちの将来の姿を共有し、意見交換を行いながら、具体的な取組の検討を進め、できることからスピーディーに取り組んでいきたいと考えています。</p>	2	③

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
6	<p>ビジョンには、商業の将来像に関する記述がなく、北九州市には地元百貨店、地域商店街が必要ないものとしかとらえられない。</p>	<p>まちづくりビジョンの実現にあたっては、地元関係者や民間事業者など、多くの方々と連携し、様々な取組を進めていくことが必要です。</p> <p>この取組が、地元百貨店や地域商店街など「まち」の活性化につながり、「まち」の活性化がビジョンの実現の後押しとなるような相乗効果も期待しています。</p> <p>そのため、地元百貨店や地域商店街が必要ないとは考えていません。</p>	2	③
7	<p>「2050年まちづくりビジョン」のマップにアーケードの表記がなく、アーケードは撤去すべきものとミスリードする恐れがある。</p>	<p>ご指摘のマップは、イメージであり、特定の土地や建物の用途の変更等を意図したものではありません。</p> <p>まちづくりビジョンをご覧になる方に誤解を与えないよう注意書きを追加します。</p>	2	②
8	<p>エリア間のネットワーク強化として、小倉、黒崎、東田間のネットワークや、広域的に博多、天神、福岡空港、門司、新門司、下関等とのネットワークの視点を加え、広域の経済圏として、ビジネス、観光、産業誘致等を検討してほしい。</p>	<p>まちづくりにおきましては、ご指摘の他地域とのネットワークや広域経済圏の視点も必要であると考えます。ビジョンでは各地区の特性に応じて、それぞれまちづくりの方針を定めておりますが、まちづくりビジョンの実現にあたっては、ご指摘の視点も考慮してまちづくりの取組を進めていきたいと考えています。</p>	2	③

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
9	コンパクト・アンドネットワークの都市政策の観点から、投資の効果的な波及効果が期待される駅周辺概ね 1 kmを対象エリアとされている点に共感する。	ありがとうございます。 しっかりとまちづくりの取組を進めていきたいと考えています。	1	①
10	北九州市の今後の施策で重要なのは、情報、人流、物流の充実。今後は高速光ネットワークの時代になり、充実した ICT オフィスを充実することで、支店の誘致を行い、支店経済を少しずつ北九州市に取り戻していくことがポイント。そのためには、色々な市の施策が必要になる。まず、都市の魅力を充実しなければならない。特に、安価で安定した電力の提供には、原子力発電所(特に SMR: 小型原子力発電所)や高効率な石炭発電所の新設を進める必要がある。	ご意見のとおり、今後のまちづくりにおきましては、情報、人流、物流の充実は重要であると考えています。いただきました施策案を参考に官民が連携して都市の魅力向上の促進を図っていきたいと考えています。	3	③
11	北九州市の目指すグランドビジョンはあるのか。もしくは、この3地域からはじまり北九州市としては何を目指すのか。 本来、北九州市が先導する構想であるならば、先ず、北九州市が目指す2050 まちづくりグランドビジョンが根幹にあり、そしてそれを形成する各地域(区単位)の役割分担や特色が明確化される事により北九州市が一体となりブランド化され、市内・市外・県外・国外へと発信する強力な存在となり得るのではないかと考える。	本市及び各区のまちづくりの方針等につきましては、本市の基本構想・基本計画である「元気発進！北九州」プランや都市計画マスタープラン等において示しており、引き続きこの取組を推進していきます。	2	③

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
12	<p>なぜ、小倉、黒崎、東田だけに絞ったものを出したのか。</p> <p>逆線引きのように切り捨てるのか。</p>	<p>本ビジョンは、民間による新規開発など都市イメージの向上に資する変化が生じてきている3地区を対象としました。その中でも、投資の波及効果が期待される駅周辺概ね1kmを対象エリアとしています。</p>	4	④
13	<p>目標年次を2050年にした理由は何か。</p> <p>団塊世代を見送った後というのはどうなのか。それまでが大事と思う。</p>	<p>本ビジョンの策定にあたっては、現状に縛られず、自由な発想で未来の姿を描くため、概ね一世代先を想定し、2050年を目標年次に設定しています。</p> <p>また、本ビジョンは、2050年に目指すまちの姿を示すもので、その実現に際しては、地元関係者や民間事業者などまちづくりに関わる様々な方々と意見交換を行いながら、具体的な取組の検討を進め、できることからスピーディーに取り組んでいきたいと考えています。</p>	4	④
14	<p>住んで、楽しく生活している人の姿が見えない。何のためにこの町に住んでいるのかの理由。どんな仕事をして、何を楽しみに、生活をしているのか。しっかりとしたペルソナ(顧客像)を示してほしい。</p>	<p>各地区の特性を踏まえ、それぞれターゲットプレイヤーや想定されるパフォーマンス・活動を記載しています。</p>	2	①

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
15	<p>今から27年後の市の人口ピラミッドからみて、どういう街にしようとしているのか。納税できる人口はそうとう少ないはず。また、市内企業が市外へ転出しているが、今後少なくなる人口のなかで、27年後の産業はどうやって作るのか。</p>	<p>人口減少が進行するなかで、限りある財源を有効に活用するためにも、これまで以上に官民が連携してまちづくりに取組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、小倉地区における老朽化したオフィスビル更新、黒崎地区における商店街のリノベーションの促進、東田地区における先端技術の実証・実装のサポートなどにより、地区の特性に応じた企業の呼び込みを促進していきたいと考えています。</p>	2	①
16	<p>実施計画の作成や予算などの割り振りについて、以前、中活として実施された、中心市街地活性化協議会のような帳面消しのような会議の発足や進め方などの運営はやめてもらいたい。過去の過ちを繰り返すことがないようしっかりと将来を見据え、まちや有識者とタッグを組んで時代の変化に柔軟に対応できる息の長いプロジェクトチームの発足を希望する。</p>	<p>今後、まちづくりビジョンを実現するため、地元関係者や民間事業者などまちづくりに関わる様々な方々とまちの将来の姿を共有し、意見交換を行いながら、具体的な取組の検討を進め、できることからスピーディーに取り組んでいきたいと考えています。</p>	4	④
17	<p>いつからビジョンを作成していたのか。どのようなメンバーで、何回くらい討議して、この資料に至ったのか。</p>	<p>令和2年度、副市長をトップに、市関係局長で構成する「まちづくり構想策定委員会」を計4回開催し、ビジョンのたたき台をまとめました。</p> <p>令和3年度からは、たたき台をもとに、地元関係者や民間事業者等のまちづくりに関わる多くの方々と意見交換を行い、本ビジョンの素案を作成しました。</p>	4	④

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
「まちづくりビジョン【各地区】」に関するもの				
18	リバーウォーク・小倉城・勝山公園などの最寄り駅は西小倉駅であり、小倉地区の開発には、西小倉エリアも含めてのまちづくりが必要ではないかと感じた。	ご意見の西小倉エリアにつきましては、まちづくりビジョンの小倉地区の対象エリアとしており、今後、まちづくりの取組を進めていきたいと考えています。	2	①
19	小倉地区の課題に挙げられている通り、小倉駅周辺はマンション等の住宅立地が少ないことから、西小倉エリアを活用したまちづくりも必要と感じた。		2	①
20	小倉エリアに関し、商店街エリアの老朽化・維持に関する問題は、喫緊の課題と思います。市として、如何に開発を推進していくのか？どのように小さなテナントを整理し、まちづくりビジョンの方向にどのように導いていくのかが課題と感じた。		3	③
21	西小倉エリア(特に室町エリア)を住宅エリアと位置付け、地元北九州人を駅前に集約できないか。そして小倉駅周辺に職住近接で流していく。外部の人は、小倉駅を中心に集客し、提案のまちづくりの考え方を楽しんでもらう。		3	③
22	交通網(JR・バス)がある西小倉エリアの方が、リビテーションにある容積率の上乗せの開発ができれば、等価交換・建替えなどを活用し、活かすこともできるのではないか。		3	③

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
23	小倉地区のビジョン「交流、創造性を高めるまちごとワークプレイス」に共感する。	ありがとうございます。 しっかりとまちづくりの取組を進めていきたいと考えています。	1	①
24	高度利用を図り、都心機能の集積を推進するうえで、中高層階の用途として住居機能をどの程度許容するかは議論のあるところかと思うが、小倉城跡、紫川沿いの景観には配慮しつつも、夜間、休日のエリア人口を増やし、職住近接のワークスタイルをサポートするために、都心居住機能の積極的な誘致をしてほしい。	景観に配慮しつつ、マンションなどの立地を誘導することで、職住近接のワークスタイルをサポートできる環境づくりを進めていきたいと考えています。	2	①
25	東田地区においては、国際的な視点が抜けており、国内からの来訪者や企業のみをターゲットにしている印象を受けた。30年後はよりボーダレスな世界になっていると想定して、国際的な視点も取り入れたビジョンにしたほうがいいのではないか。	東田地区のターゲットプレイヤーにつきましては、国内外に関わらず地区に来訪される方、実証・実装の場を求める企業のすべてを対象者として考えています。	2	①
26	東田地区の2050年に目指す方向で記載されたターゲットプレイヤーに海外からの来訪者(観光客、研究者等含む)を入れるべきだと思料する。北九州市ではスーパーシティの追加提案にも留学生の就職に関する在留資格の規制改革を打ち出しているのので、そういった国際交流都市としての海外からの来訪者もターゲットに入れるべきだと思料する。		2	①



No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
27	東田地区の課題として、スペースワールド駅の南北が分断されていることも課題であると思料する。洞海湾エリアや世界遺産である官営八幡製鐵所旧本事務所との連携も必要。	ご意見のとおり、地区内及び地区周辺との連携や回遊性が低いことは課題と考えています。今後、地区内及び地区周辺との連携・回遊性向上に向けてまちづくりの取組を進めていきたいと考えています。	2	①
28	東田大通り公園といのちのたび博物館が道路によって分断されていることも課題であると思料する。道を挟んでいるため、博物館後に公園を利用する方が少なく、公園の利用者が少ないことに拍車をかけていると考えられる。		2	①
29	東田地区については、中央町との連携を視野に入れた 2050 年の姿を描くべきであると思料する。現在の案だとイオン関連施設で全て完結する内容になっているため、一部企業ではなく、商店街等の個人事業者とも WIN-WIN な関係を築ける内容にすべき。		2	①
30	当初より感じていることは、3 地区（小倉・東田・黒崎）の距離感が物理的に遠いこと。そして、その 3 地区を繋ぐ電車間・車移動中に魅せられるものがないことから、ぶつ切りの考え方にならざるを得ないのだろうなというのが感想。3 地区を繋ぐことは難しくとも、なにか小倉地区⇔東田地区、東田地区⇔黒崎地区を繋ぐ良さをイメージさせることも、北九州及び各地区が発展していくには必要なことではないかと感じた。	東田地区につきましては、「広域から集客し、市内に送り出す集客ポンプ」をまちづくりの方針とし、市内の回遊性向上を図りたいと考えています。まちづくりビジョンの実現にあたっては、ご指摘の視点も考慮してまちづくりの取組を進めていきたいと考えています。	2	①

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
31	東田地区の交流人口の増加を期待。滞在型への提案が少ないように思う。皿倉山からの夜景は世界レベルで自慢できる観光資源。インバウンド需要を誘致するためにもホテルなどの検討が必要。	東田地区につきましては、「広域から集客し、市内に送り出す集客ポンプ」をまちづくりの方針としており、ご意見につきましては、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	2	③
32	東田地区の広い公共空間は防災計画の拠点として意識を持つことが肝要。	本市の災害対策につきましては、北九州市地域防災計画でまとめていますが、今後のまちづくりにおいても、防災の視点をもって取組を進めていきたいと考えています。	2	③
<b>「まちづくりビジョン【広報・広聴】」に関すること</b>				
33	まちづくりビジョンについて、プロモーションビデオを作って広く周知してはどうか。	ご意見につきまして、今後のまちづくりビジョンの周知に際し、参考とさせていただきます。	4	④
34	年末に公開して、1月24日締め切りとは、意見募集期間が短すぎるのではないか。	意見募集期間につきましては、これまでも、1か月（30日間）を目安に市民意見を募集しました。意見募集の広報につきましては、本市ホームページや市政だよりで周知を行い、本庁、各区役所及び出張所で素案の閲覧を行いました。	4	④
35	市民意見募集の広報はどのように行ったか。		4	④

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
その他				
36	北九州市立商工貿易会館、市営天神島駐車場について、コクラリビテーションと連携して建替えの検討を行ってはどうか。	市有建築物の建替え等につきましては、北九州市公共施設マネジメント実行計画に基づき、本市のにぎわいづくりや活性化にも留意しながら、現在及び将来のニーズ等を見据えて建替え等を進めていきたいと考えています。	4	④
37	京町二丁目7番の地区の再開発を強力に支援してほしい。	再開発事業につきましては、これまでどおりしっかり支援していきたいと考えています。	4	④
38	船場町にある船場広場と旧小倉ホテル跡地について、土地所有者との契約期間を待たずに開発をしてほしい。広場の設置で周辺がだいぶ明るい雰囲気になった。	船場広場につきましては、土地使用貸借契約期間中であっても、土地所有者の意向により開発等を行うことができます。	4	④
39	新小倉ビル、北九州銀行本店ビル、北九州第一ビルなどの建替えについて、所有者に声をかけてみては良いのではないか。新小倉ビルについて、持ち主に建て替えを促してほしい。	本市としましても、都市機能の更新と更なる魅力向上の促進を図っていきたくて考えており、今後は、ビルの所有者などのステークホルダーとまちの将来の姿を共有し、ビルの建替など具体的な取組の検討を進めていきたいと考えています。	4	④
40	浅香通りを通るバス路線が1系統でいいのでほしい。紺屋町交差点付近が不便に感じる。	今後官民でまちづくりについて協議を行う際に、交通事業者等と意見交換したいと考えています。	4	④

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
41	クロサキメイトビルを解体して、跡地をいくつかの大きな街区に分割し、開発してはどうか。	クロサキメイトビルの再生は、黒崎のまちづくりにおいて、重要な課題であると認識しています。黒崎のまちの活性化につながるよう、利害関係者の動向を注視していきたいと考えています。	4	④
42	黒崎一丁目にある黒崎中央大劇場跡（現黒崎中央ビル）について取り壊しを含めて有効活用してほしい。	本市としましても、都市機能の更新と更なる魅力向上の促進を図っていきたくて考えており、今後は、ビルの所有者などのステークホルダーとまちの将来の姿を共有し、ビルの建替など具体的な取組の検討を進めていきたくて考えています。	4	④
43	小倉リビテーション・黒崎リビテーションと緊密に連携してほしい。	コクラ・クロサキリビテーションはまちづくりビジョンを実現するための具体的な取組の一つとしています。	4	④
44	魚町交差点周辺のビル（北九州富士ビル、西日本小倉ビルなど）について、建て替えを促してほしい。	本市としましても、都市機能の更新と更なる魅力向上の促進を図っていきたくて考えており、今後は、ビルの所有者などのステークホルダーとまちの将来の姿を共有し、ビルの建替など具体的な取組の検討を進めていきたくて考えています。	4	④
45	小倉駅南口ロータリーの駐車場、タクシー乗り場を止め芝生広場にしたらいいと思う。	ご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	4	④

No	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
46	船頭町を区画整理してほしい。	本市としましても、都市機能の更新と更なる魅力向上の促進を図っていきたいと考えており、今後は、土地の所有者などのステークホルダーとまちの将来の姿を共有し、具体的な取組の検討を進めていきたいと考えています。	4	④
47	リバーウォーク北九州の外壁について劣化が進んでいると思われる。	リバーウォーク北九州の外壁につきましては、ビルの所有者により適切に管理されていると考えています。	4	④
48	チャチャタウン小倉について、50年使用する前提で建物の構造が作られていないと思われるが、今後の利用について運営会社に聞いてみてほしい。	今後官民でまちづくりについて協議を行う際に、施設所有者と意見交換したいと考えています。	4	④
49	馬借の市立医療センターについて、10年以内に建替えの時期を迎えると思われるが、小倉中心部から遠い位置に移転しないでほしい。	いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	4	④